



# 岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和3年1月15日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2021年第1週  
(1/4~1/10)  
12月報合併号

<情報編>

ノロウイルス  
食中毒注意報発令中

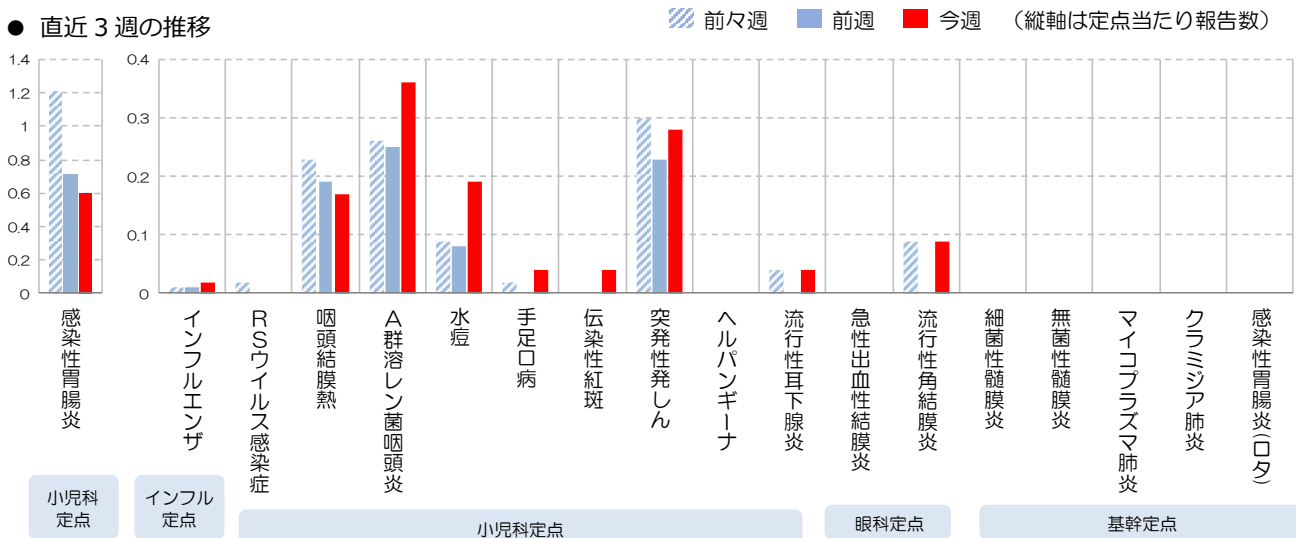
## 今週の主な動向

○県内での新型コロナウイルス感染症の発生報告が急増し、令和3年1月14日には国の緊急事態宣言の対象区域に岐阜県が追加されました。これ以上の感染拡大を防ぐため、3密の回避、マスクの着用及び手洗いの習慣化を基本に、多人数での長時間に及ぶ会食を避けるなど慎重な行動をお願いいたします。（下記参照）

## 定点把握対象疾患

<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

### ● 直近3週の推移



## 全数把握対象疾患

### ● 新規報告分

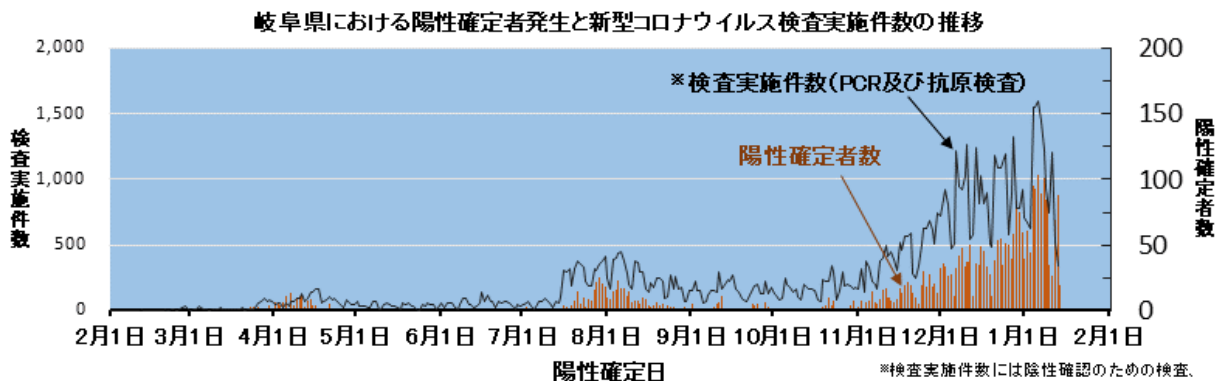
- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 2 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし

- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 2 例、百日咳 1 例

指定感染症：新型コロナウイルス感染症 602 例（1/4～1/10(陽性確定日による集計)）

## トピック：新型コロナウイルス感染症

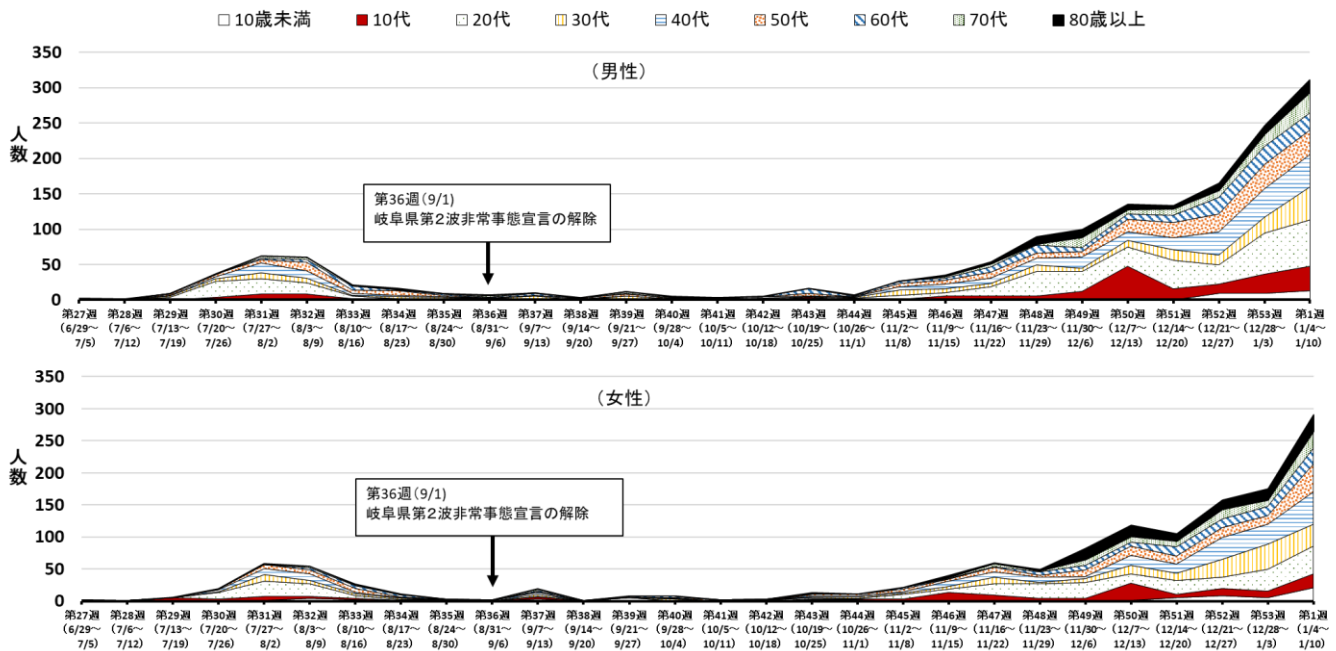
新型コロナウイルス感染症について、県内で確認された3288症例（県外の居住者48名を含む）の発生と、検査実施件数の推移をグラフ化すると下記ようになります。（令和3年1月14日 17:00 現在のデータによる）。



<情報編>

令和3年第1週(1/4~1/10)の陽性確定者の発生報告は602名であり、一週間あたりの報告数が600人を超えました。岐阜県では令和3年1月9日に県独自の「非常事態宣言」を発令し、また1月14日には、国の緊急事態宣言の対象区域に岐阜県が追加されました。これ以上の感染拡大を防ぐため、密閉・密集・密接(3密)の条件を避けること、マスクを着用すること、手洗いの習慣化を基本とし、多人数での長時間に及ぶ会食を避けるなど、感染リスクを避けた慎重な行動をとるようお願いいたします。

第2波後の岐阜県における陽性確定者発生の推移(週別・年代別)



(参考) 岐阜県 HP「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/26547.html>

(参考) 岐阜県における非常事態宣言(令和3年1月9日発令)

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/122733.html>

(参考) 岐阜県 HP「新型コロナウイルス感染症に対する岐阜県の対応について」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/26717.html>

(参考) 岐阜県 HP「岐阜県 新型コロナウイルス感染症に関する情報」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/>

注) 令和2年10月1日に岐阜県庁ホームページがリニューアルいたしました。以前の URL ではページをご覧になれない場合があります。ご注意ください。

※令和2年10月29日、厚生労働省は新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況と、これまでに得られた科学的知見について、新たに10の知識としてとりまとめました。この中には、新型コロナウイルス感染症対策分科会から10月23日に提言された『感染リスクが高まる「5つの場面」』についても記載されています。

・「(12月時点) 新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識」厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000712224.pdf>

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出は控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間(換気の悪い密閉空間である)
2. 密集場所(多くの人々が密集している)
3. 密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件(3密)を避けることが重要です。

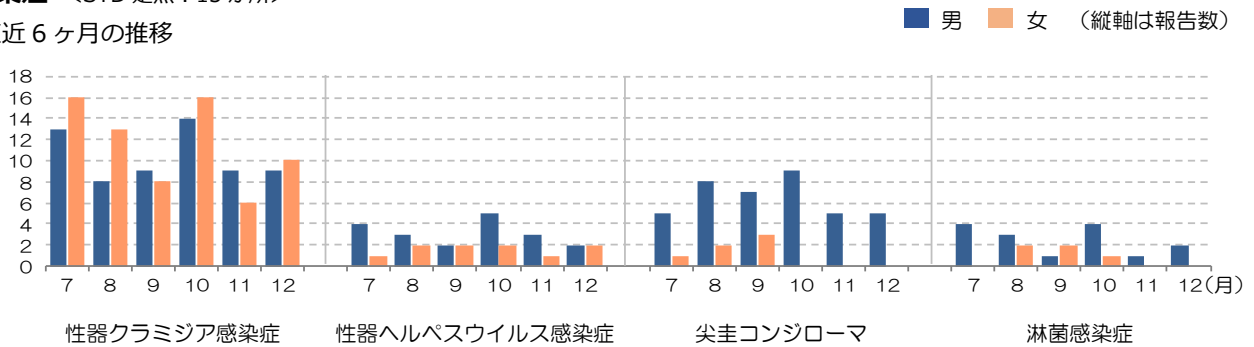
今月の主な動向

・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症について、昨年に比べ2020年は報告数が少ない傾向がみられます。

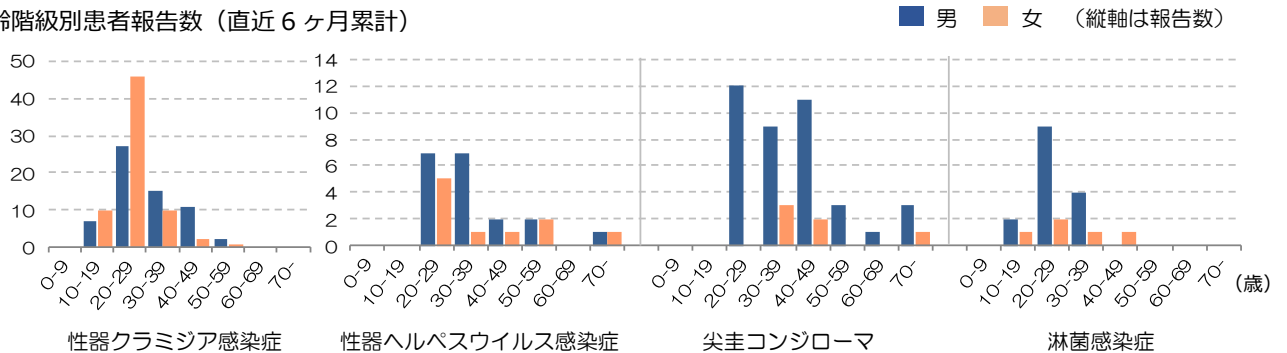
定点把握対象疾患

性感染症 <STD 定点：15 か所>

● 直近6ヶ月の推移



● 年齢階級別患者報告数 (直近6ヶ月累計)



薬剤耐性菌感染症 <基幹定点：5 か所>

● 直近6ヶ月の推移



病原体検出情報

● 医療機関から提出された検体の病原体検出状況 (1月12日現在結果判明分 (新規検出分) : 月は採取月を示す)

臨床診断名	病原体名 (遺伝子検出を含む)	11月	12月
腸管出血性大腸菌感染症	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2	2	
	<i>Escherichia coli</i> O111:H- VT1		1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	<i>Enterobacter cloacae</i> カルバペネマーゼ非産生	1	1
	<i>Klebsiella aerogenes</i> カルバペネマーゼ非産生	1	

※詳細はHPをご覧ください (毎週更新)。 <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/107047.html>